

令和4年10月6日

令和4年度第2回消費生活意識調査結果について

1. 調査の目的とテーマ

「消費生活意識調査」では、消費者の意識や行動、消費者問題等について、その時々
のテーマで随時調査を実施しています。令和4年9月は、「食品ロス」を中心に調査を
行いました。

2. 調査の方法

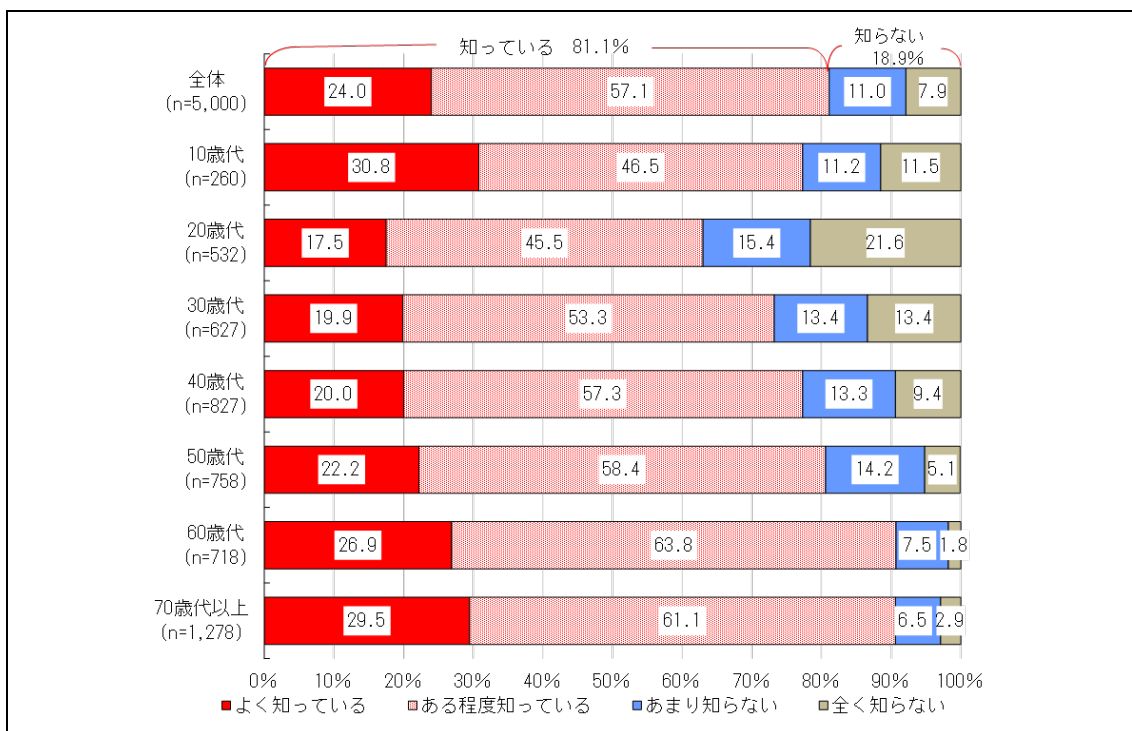
全国の15歳以上の男女5,000人を対象に、インターネットによるアンケート調査を
実施。

3. 調査結果のポイント

(1) 「食品ロス問題の認知度」について

○食品ロス問題を知っているか聞いたところ、知っている（「よく知っている」と「ある
程度知っている」のいずれか）と回答した人は81.1%であった。年代別では、60歳代
の認知度が90.7%と最も高かった一方、20歳代の認知度が63.0%と最も低かった。

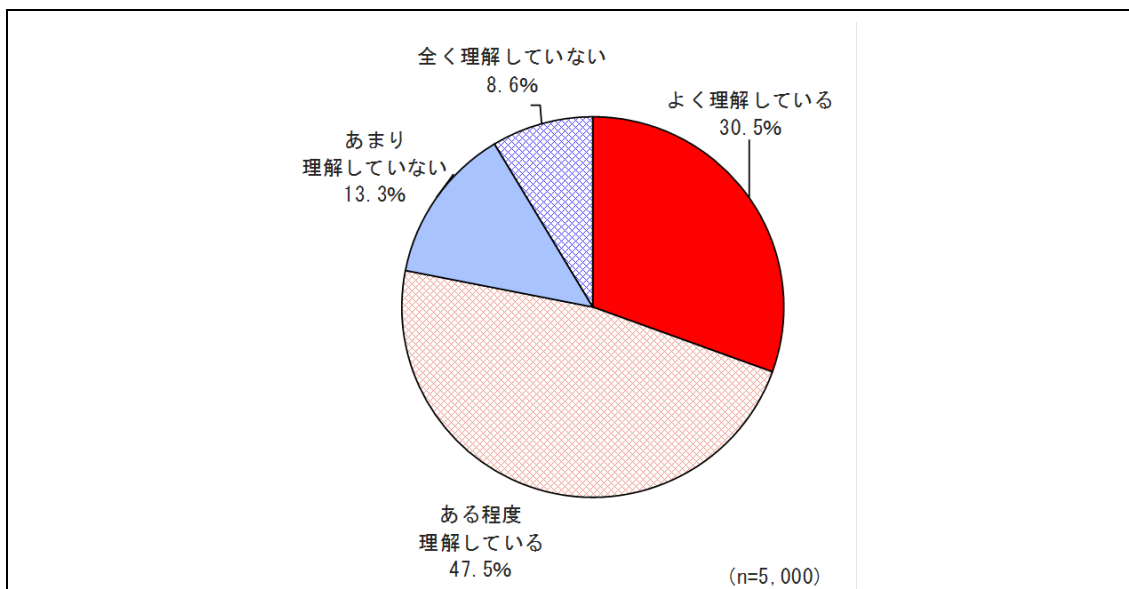
図1



(2) 「賞味期限・消費期限に対する理解度」について

賞味期限・消費期限を正しく理解しているか聞いたところ、理解している（「よく理解している」と「ある程度理解している」のいずれか）と回答した人は78.0%であった。

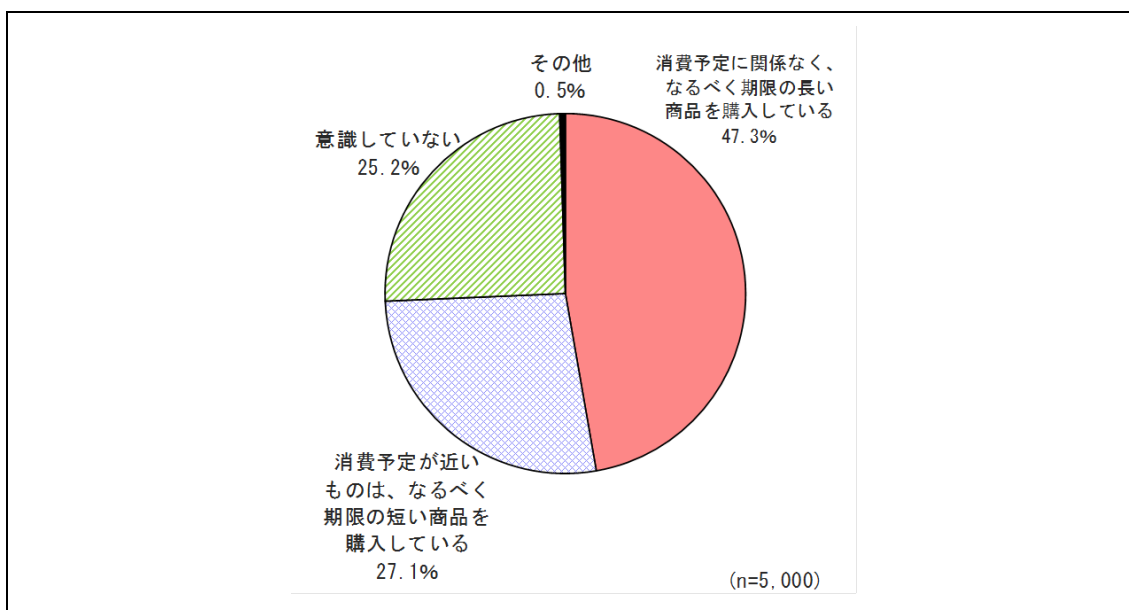
図2



(3) 「食品を購入する際の賞味・消費期限の意識」について

食品を購入する際に賞味・消費期限を意識しているか聞いたところ、「消費予定に関係なく、なるべく期限の長い商品を購入している」と回答した人は47.3%であった。

図3

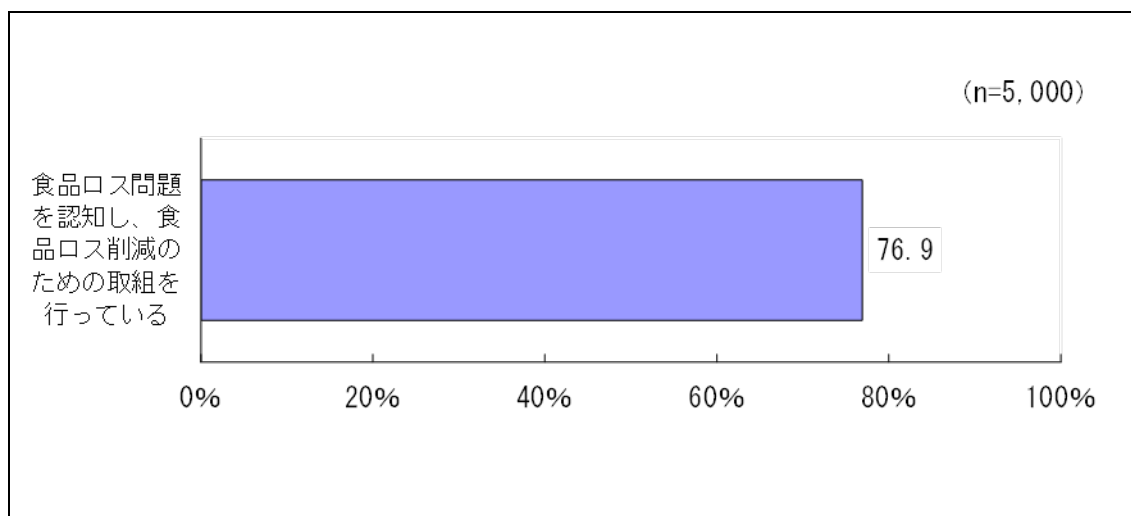


(4) 「食品ロス問題を認知して食品ロス削減に取り組む人の割合」について

食品ロス問題を認知して食品ロス削減に取り組む人の割合を集計したところ、食品ロス問題を「知っている」と回答し、かつ食品ロスを減らすための取組を行っている人は76.9%であった。

※ 「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針（令和2年3月31日閣議決定）」において、「食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合を80%とする」との目標を設定。

図4



調査に関する問合せ先

消費者庁参事官（調査研究・国際担当）

TEL：03(3507)9330（直通）

内容に関する問合せ先

消費者庁消費者教育推進課食品ロス削減推進室

TEL：03(3507)9261（直通）